

## 渋谷駅中心地区における新たな地域ルールの考え方

---

### 屋外広告物（デジタルサイネージ）の実証実験について

2019.3.22

渋谷駅前エリアマネジメント協議会  
渋谷駅街区開発計画

**0.施設概要**

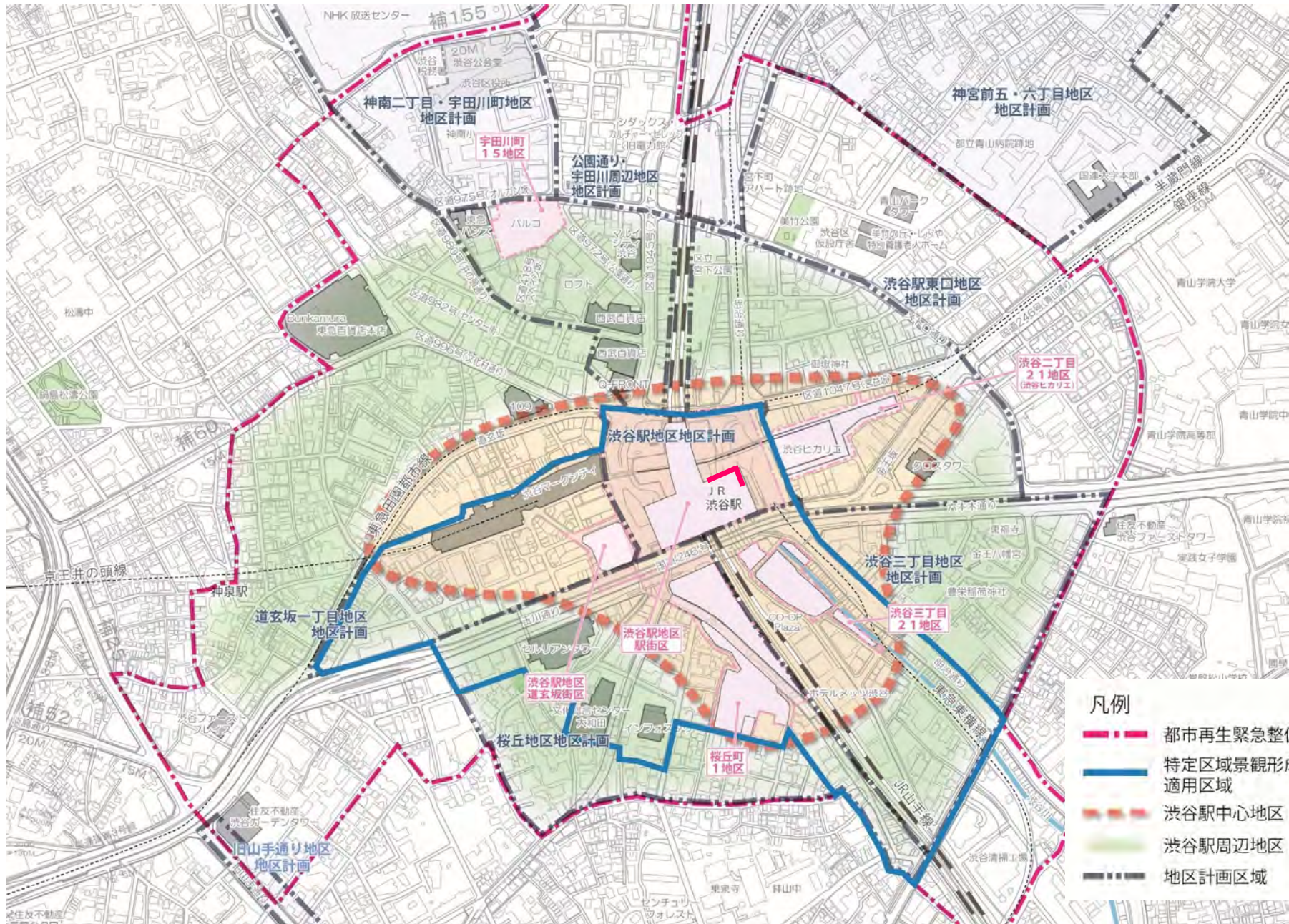
**1.実証実験の検証・評価主体、役割分担について**

**2.実証実験の概要**

**3.今後の進め方について**

**参考資料**

# 0. 施設概要 - 対象地 -



## 0. 施設概要 — 駅街区東棟デジタルサイネージのイメージ —

都市再生緊急整備地域(2005.12)、特定都市再生緊急整備地域(2012.1)

- ・世界に開かれた情報発信拠点
- ・最先端の文化や情報をリアルタイムに世界へ発信する生活文化等の情報発信機能の強化

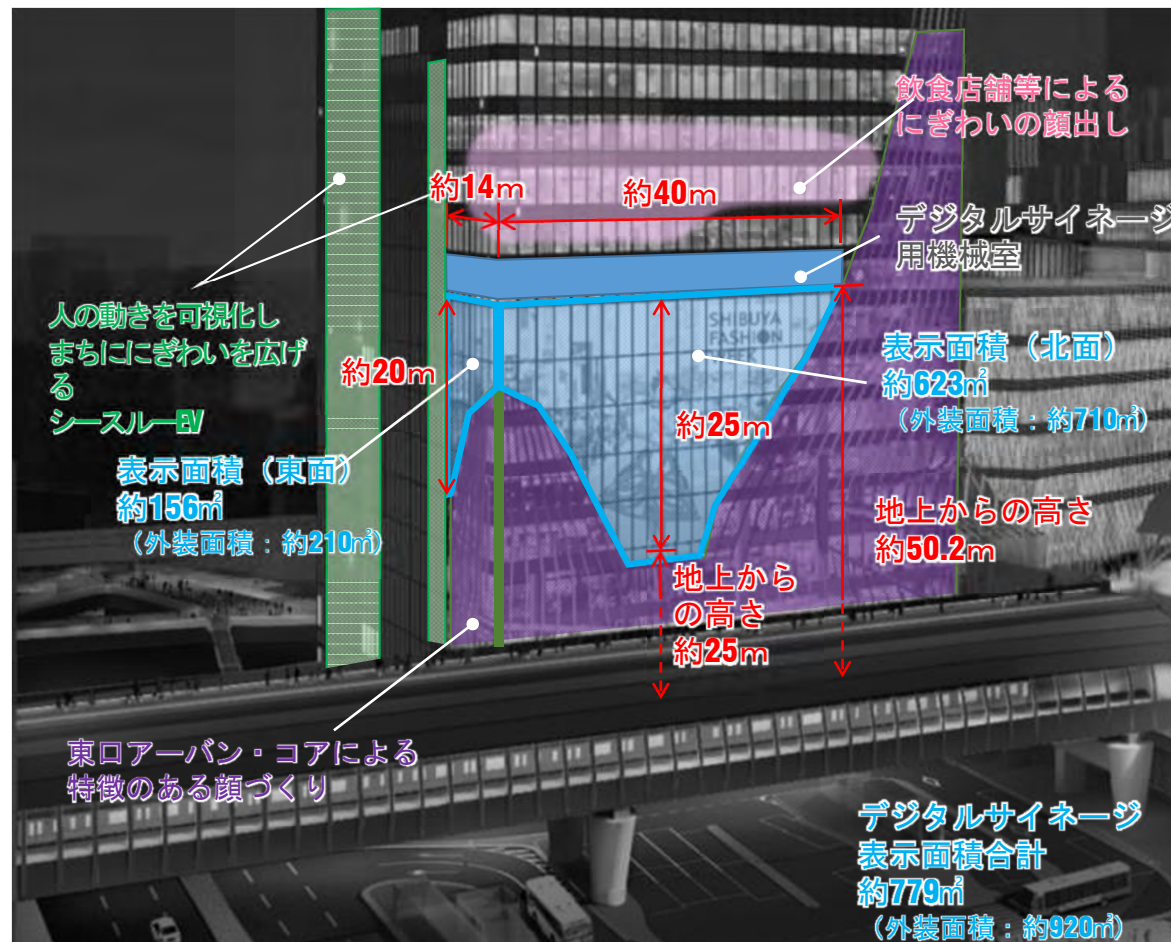
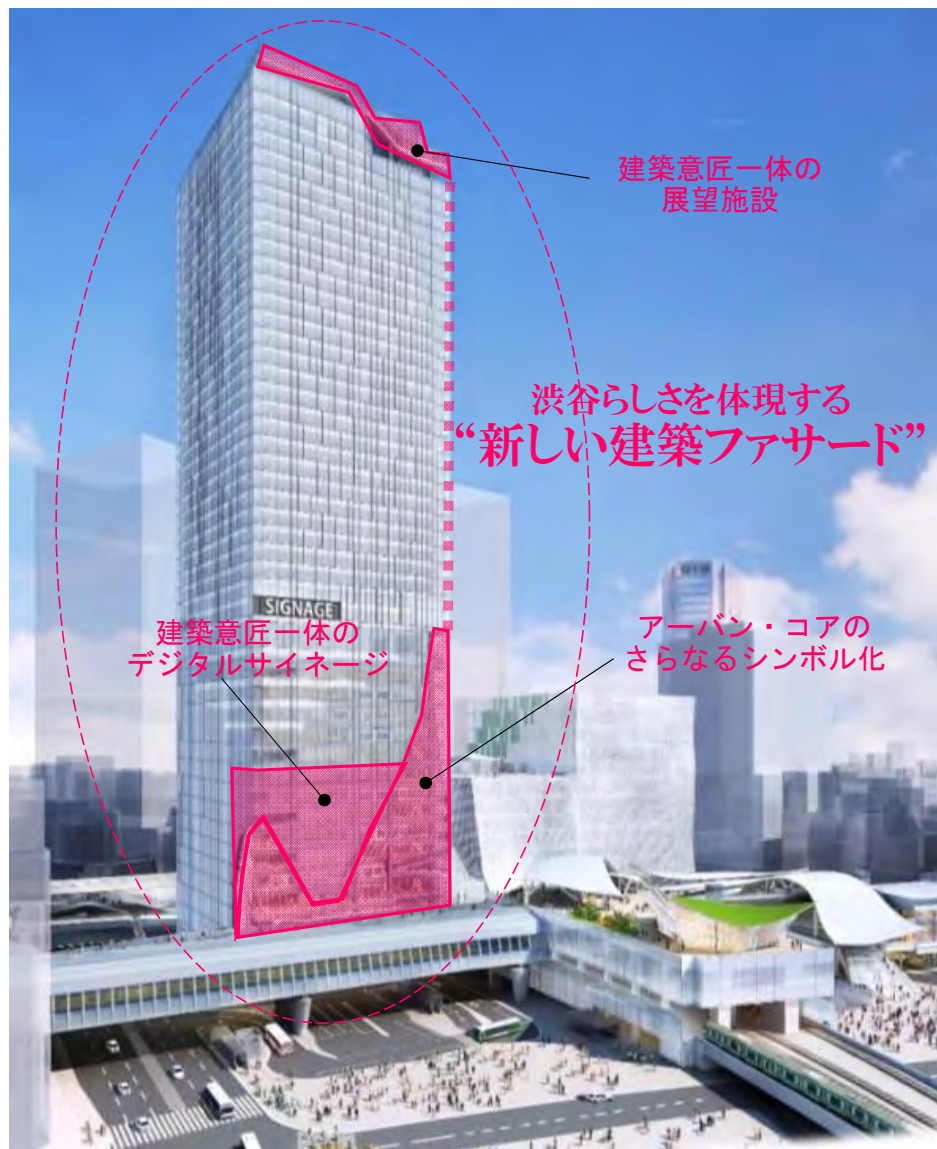
渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針(2011.8)

“劇場的な”まちのイメージを強化する、文化発信に相応しいデザインとする。

渋谷駅中心地区まちづくり指針2010(2010.3)

情報発信のまちとして、世界の人々を惹きつける景観を目指す。

### 渋谷らしいファサード形成に加え、まちからの視認性を考慮した設置位置・規模・形状を検討



<北面>

媒体としての効果的な面となるため、駅街区の特徴的な顔である東口アーバン・コアと、飲食店舗によるにぎわいの顔出しを行う範囲を除いた全面に設置

<東面>

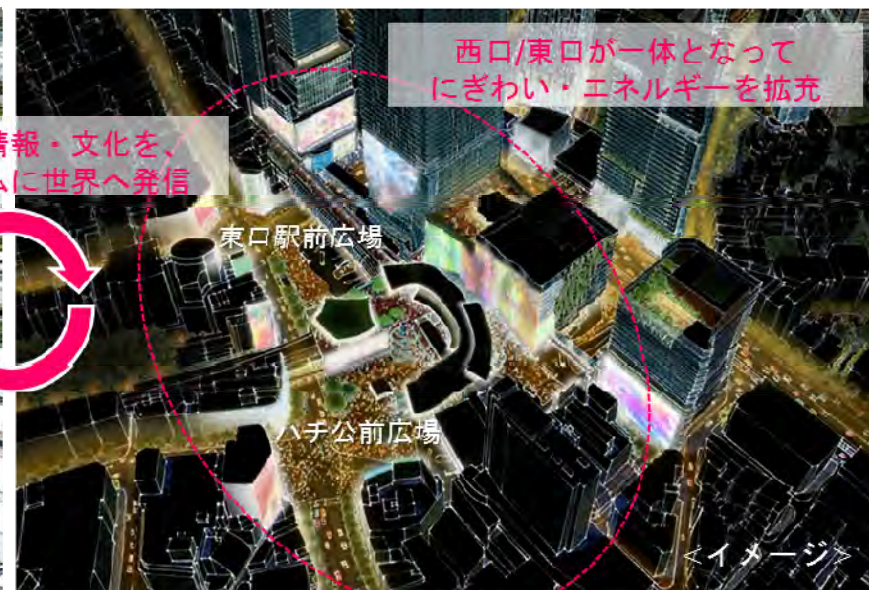
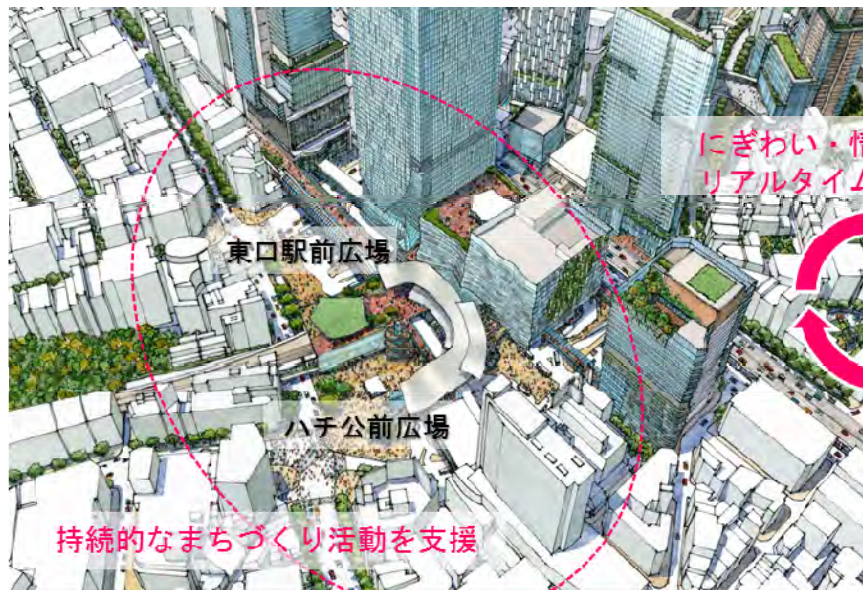
動きによるにぎわいを創出するシースルーEVの範囲と住み分けつつ、北面のデジタルサイネージと一体利用を想定した北側寄りの範囲に設置

《上位計画の位置付け》「多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点」の形成

位置づけ強化  
ポテンシャルの向上

目的 世界No.1の“生活文化の情報発信拠点”を目指し、新しい景観形成・まち運営のしくみを構築

day



night

いつ見ても・いつ訪れても、新しい体験や発見がある

常に世界の注目を集め続ける。世界から集客し続ける。  
(=新しい東京の“拠点”※の1つとしての個性の蓄積と発信をいっそう進める)

世界No.1の“生活文化の情報発信拠点”を目指し、新しい景観形成・まち運営のしくみを構築する

実証実験期間中：公共利用、賑わい形成

公共利用



渋谷区との連携による映像



警視庁との連携による映像



東京都 オリパラ組織委員会等と連携した映像

※実証実験2においては、生活情報コンテンツや賑わいやまち情報を放映予定

賑わいに資する映像



特殊形状を活かした映像コンテスト告知映像



特殊形状を活かしたコンテスト応募作品  
※企業のロゴなどは入りません

本格運用：まち全体で仕掛けるコづくり・まちづくり、情報発信

賑わいに資する映像や防災情報発信

例1: Halloween × Fashion Week

元が手掛けるファッションショー、世界のコスプレイヤーが集結するイベントを開催  
対極のクリエイティビティからインスパイアを受けた次世代のクリエイターを輩出し、  
ストリートカルチャーを創出する。



例2. 地元のお祭り 例大祭・盆踊り

渋谷の町会が集結し盛り上げる例大祭。お祭りの様子をサイネージで放映。  
街の回遊性を促すと共に街全体で例大祭を盛り上げます。



例3. 国際コンペティション

映画祭や広告祭といった国際的なコンペティションを誘致。  
イベントの後に参加したクリエイターが街に繰り出す仕掛けを施し、  
街にクリエイティビティが溢れる機会を作ります。



例4. COUNTDOWN

NHKなど渋谷の企業と連携したカウントダウンコンサートを開催  
東棟のサイネージではコンサートの様子やオリジナルコンテンツ、スクランブル交差点の  
様子を中継。



例5. 災害時の情報発信

災害時には、明治通りや文化村通り、東口駅前広場周辺など、一時退避者が集中すると見込まれている  
駅北側のエリアに対して避難誘導等に資する災害情報を発信します。



① 発災直後

- ①【地震情報】大きな地震が発生しました。
- ②落ち着いて安全を確保してください。
- ③渋谷区防災ポータルへアクセスしてください。  
.....e.t.c.

② 発災数時間後

- ①【待機のお願】駅や道路に人があふれると大変危険です。
- ②帰宅しようとせず、安全な場所で待機してください。  
.....e.t.c.

※防災表示内容については、渋谷駅周辺地域都市再生確保計画の一環で検討中

# 1. 実証実験の検証・評価主体、役割分担について

実証実験の検証・審査等において、景観面と広告面に則した役割分担とすることで適正な判断を行う。

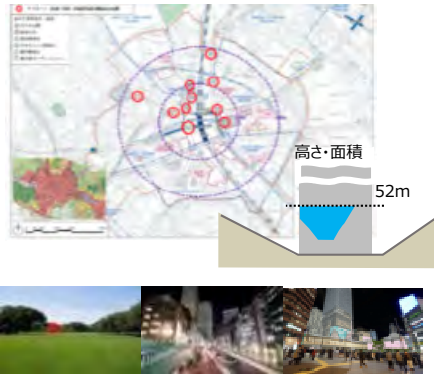
実証実験項目	検証項目 ※渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針の区域内におけるデジタルサイネージ等を活用した実証実験取扱要綱より	実証実験1(環境映像)						実証実験2(広告)				
		調査・検証			審議・審査主体または報告先							
		基礎データ取得方法	意見聴取先			広告	景観		広告		景観	
			交通事業者	交通管理者	外部有識者	(都)広告審	(区)デザ会	(都)景観審	エリマネ自主審査会	(都)広告審	(区)デザ会	(都)景観審
A 街並み・生活環境への影響検証	住宅エリア等の中・遠景の見え方が限定的で問題ないことを確認・検証 設置する高さ 大きさ及び表示面積 視点場からの表示内容の視認性 表示時間	調査員による現地観測(プロジェクトメンバー) ・目視による観測→記録 ・視点場の資料映像の収集	○	○	—	◎	○	○	—	—	—	—
B 交通安全性検証	信号機の視認性に問題なく、交通安全性に問題がないことを確認・検証 表示内容の動きによる影響(静止画及び動画) 歩行者及び道路交通安全性	現場での自動車運転によるアイトラッキング調査 各種信号との関係性を鉄道事業者と確認	○	○	—	◎	○	○	—	—	—	—
C 来街者への影響検証	まちと共存可能な明るさと音量の目安、上限値を確認・検証 表示内容の動きによる影響(静止画及び動画) 不快光(グレア)レベル 許容騒音レベル 表示時間	現場での輝度計・騒音計を用いた数値測定、及び輝度ごと/音量ごとのアンケート調査	—	—	○ 大阪大学 福田准教授	◎	○	○	—	—	—	—
D 情報発信の有効性検証	良好な街並みを構成し新たな渋谷のランドマークとして相応しい表示方、文字・レイアウト等適切表示規格を確認 表示内容の動きによる影響(静止画及び動画) 視点場からの表示内容の視認性 大きさ及び表示面積	ビジョン視聴地点 現地観測および資料収集・分析・報告	—	—	○ エリマネ広告 自主審査委員	◎	○	○	—	—	—	—
E まちづくりへの貢献度	まちづくり活動		—	—	—	—	—	—	◎	◎	○	○

## 2. 実証実験の概要

### デジタルサイネージの及ぼす環境影響や情報発信の有効性について検証

実証実験 1

#### A: 街並み・生活環境への影響



事前検証結果

##### 見え方の確認(視認の可否)

✓VR・合成写真により主要視点場からの見え方を  
✓確認。  
⇒重要な視点場(近景)からのみ視認可(4箇所)。  
住宅エリア等の中・遠景の環境影響は限定的。

実証実験 検証方法

##### 見え方の確認

✓試験映像(動画・静止画)を各視点場で再確認。  
【評価視点】  
住宅エリア等の中・遠景の見え方が限定的であることを確認

#### B: 交通安全性



事前検証結果

##### 環境影響分析

交通管理者、交通事業者、専門家にヒアリング。  
✓試験運転により車道からの視認想定範囲および  
信号機との重なりを確認(映像・合成写真)  
⇒VR検証上問題ないが、各種鉄道信号の関係性  
(赤色・点滅)に注意。脇見運転等の懸念。

実証実験 検証方法

##### 環境影響分析

✓実際の運転映像等、現場調査を実施。  
✓アイトラッキングテスト等を実施。  
【評価視点】  
(道路・鉄道)信号機の視認性を現場確認。  
交通安全性に問題がないことを確認。

#### C: 来街者への影響



事前検証結果

##### 環境影響分析

有識者ヒアリングにより、  
✓他エリアの周辺市街地の光(音)環境の確認  
✓視認距離、不快光、各出力の基準値を確認  
⇒実例より昼間は3000cd/m<sup>2</sup>(出力)が目安。  
設置環境により状況が異なるため、現場の実  
環境で実物を見て判断。

実証実験 検証方法

##### 環境影響分析

✓事前検証した数値を目安に試験放映を実施  
【評価視点】  
まちと共存可能であり、かつ東口エリアにお  
ける上限値を有識者の助言を基に確認。

#### D: 情報発信の有効性



事前検証結果

##### 見え方の確認(表示方法の適正)

✓サイネージの活用イメージを確認。  
✓広場からのコンテンツの視認性を確認。  
⇒コンテンツ放映の有効性を確認

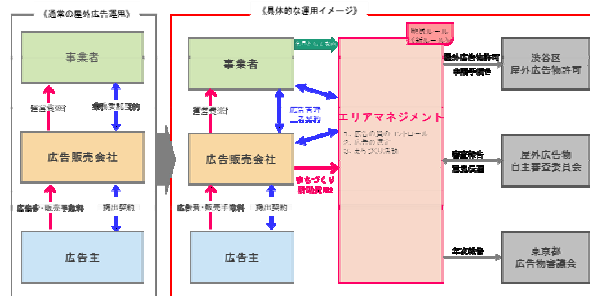
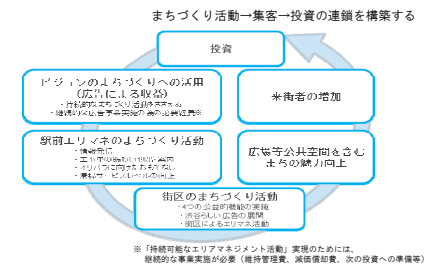
実証実験 検証方法

##### 見え方の確認

✓各種用視点場にて各コンテンツの見え方を確認。  
【評価視点】  
良好な街並みを構成し、新たな渋谷のランドマ  
ークとして相応しい表示方を検証。  
文字、レイアウトなどの適切な表示規格を確認。

実証実験 2

#### E: まちづくりへの貢献



事前検証結果

まちづくりへの資金還元の収支シミュレーションを実施

実証実験 検証方法

✓実際に広告販売を行い、収支シミュレーションを検証

【評価視点】

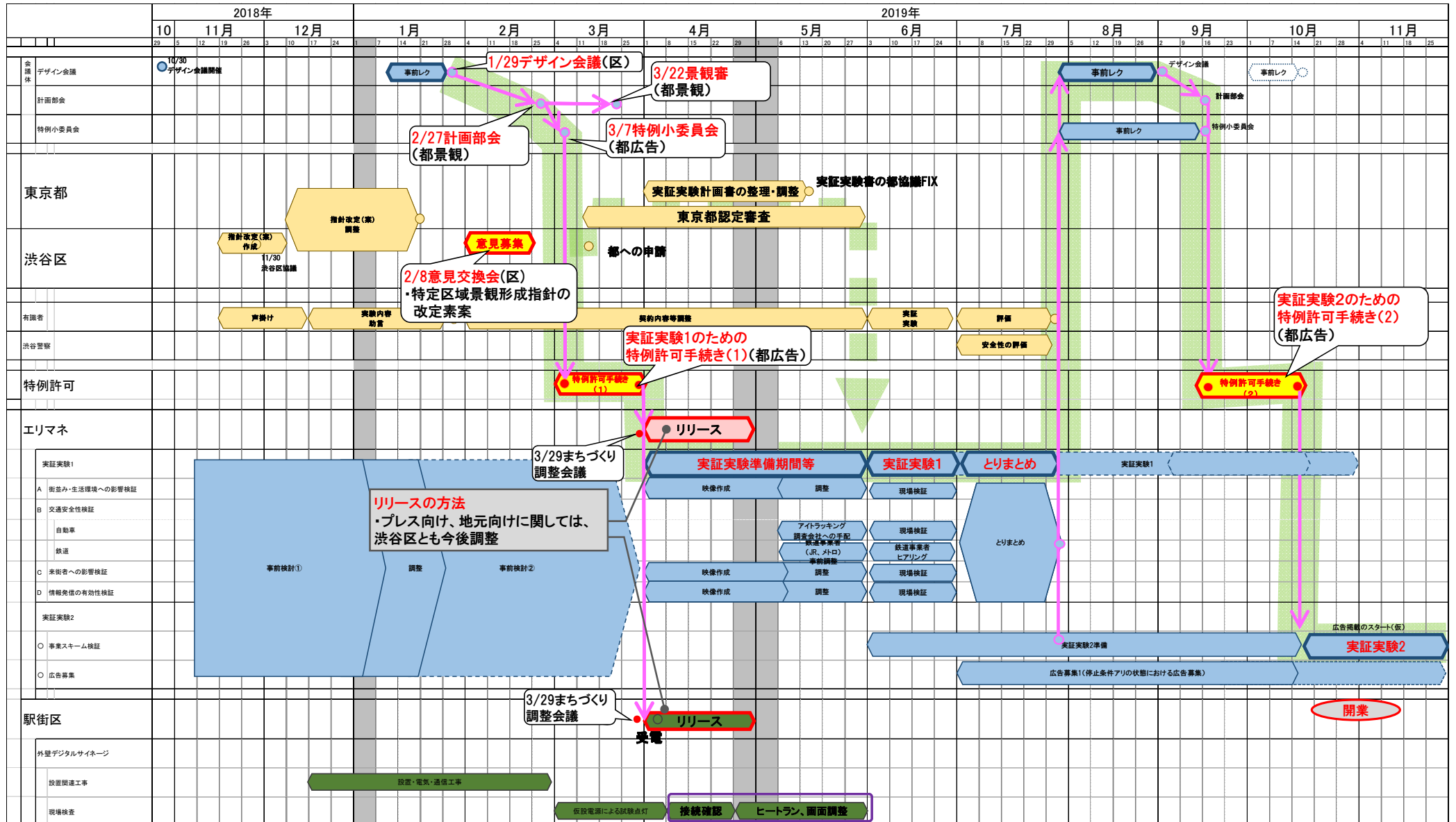
安定的なまちづくりをめざし、持続可能な仕組みを検討する。

結果を踏まえ地域ルールに反映



### 3. 今後の進め方について

6月の実証実験1に向け、計画内容の深度化、実証実験のための特例許可手続きの取得、特定区域景観形成指針の改定を、官民一体となって進める。



渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針の区域内におけるデジタルサイネージ等を活用した実証実験取扱要綱

29 都市政緑第 389 号  
平成 29 年 11 月 1 日

## 第1 総則

本要綱は、平成 23 年 8 月 4 日付 23 都市政緑第 220 号にて認定した「渋谷駅中心地区大規模建築物等に係る特定区域景観形成指針」(以下「特定区域景観形成指針」という。)の適用を受ける大規模建築物等について、デジタルサイネージ等を設置する際に景観等への影響を検証するために実施する実験に関し、必要な事項を定めるものとする。

## 第2 実証実験の目的

渋谷駅中心地区において、特定区域景観形成指針の方針及び渋谷区が「渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010」で示した将来像“世界に開かれた生活文化の発信拠点・渋谷”を実現するため、にぎわいの形成やまちの魅力向上につながるデジタルサイネージ等を設置し、「渋谷駅前エリアマネジメント協議会」によるまちの付加価値向上に資するスキーム等を活用した運用を行うため、実証実験により設置の効果や本格運用に向けた課題を検証することを目的とする。

## 第3 適用の範囲

本要綱は、特定区域景観形成指針の適用区域内における大規模建築物等のうち、別表 1 に掲げる対象施設について適用する。

## 第4 基本的考え方

- 1 実証実験に当たっては、渋谷区が設置する「渋谷駅中心地区デザイン会議」において、前記第 3 に定める適用の範囲と「渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010」に定める景観形成方針等との整合性を確認する。
- 2 都は、特定区域景観形成指針に定める景観形成方針及び屋外広告物等の考え方を推進するため、必要な対応を行う。

## 第5 実証実験

- 1 実証実験を行おうとする者(以下「事業者」という。)は、実証実験の開始前に都と協議し、別表 2 に掲げる項目を含む実証実験計画書を提出しなければならない。
- 2 都は、当該実証実験の内容について妥当であると認めるときは、実証実験計画書を受領し、これをもって実証実験の開始を承認したものとする。
- 3 事業者は、実証実験の開始前に、実験で起こりうるリスクと対策とを十分検討するとともに、実証実験中の事故等についての一切の責任を負うものとする。

- 4 都は、実証実験中に事故や車両・歩行者の安全に関わる不測の事態等が生じた場合は、当該実証実験の中断又は中止を指示することができる。
- 5 事業者は、実証実験の項目を変更するときは、あらかじめ都に変更の理由、項目等を記載した実証実験計画書を提出しなければならない。
- 6 事業者は、実証実験を終了したときは、速やかに都に実証実験結果報告書を提出しなければならない。
- 7 都は、実証実験が十分に実施されていないと認めるときは、事業者に対して必要な措置を講ずるよう要請することができる。

## 第6 特定区域景観形成指針の改正

実証実験の結果を踏まえ、都は、渋谷区からの提案を受け、必要に応じて特定区域景観形成指針の改正を行うものとする。

## 第7 その他

事業者は、実証実験の開始前に別途、東京都屋外広告物条例(昭和 24 年東京都条例第 100 号)の所管部署と協議するものとする。その際、デジタルサイネージ等による広告収入を公益に還元するスキームの内容についても併せて協議するものとする。

別表 1 対象施設

建物名称	壁面の位置	おおよその範囲	
		設置する高さ	面積
渋谷駅街区東棟	北面及び東面	(各面共通) 地上 10m 以上 52m 未満	北面 約 710 m <sup>2</sup> 東面 約 210 m <sup>2</sup>

別表 2 実証実験の項目

項目	検証内容
見え方の確認	設置する高さ 形状及び表示面積 表示内容の動きによる影響(静止画及び動画) 視点場からの表示内容の視認性
輝度の確認	歩行者及び道路交通の安全性 不快光(グレア)レベル
音量の確認	許容騒音レベル
検証方法	検証工程 第三者ヒアリング
その他	表示時間